



卒業おめでとう！

卒業式

谷川俊太郎



ひろげたままじゃ持ちにくいから
 きみはそれをまるめてしまう
 まるめただけじゃつまらないから
 きみはそれをのぞいてみる
 小さな丸い穴のむこう
 笑っているいじめっ子
 知らんかおの女の子
 光っている先生のはげあたま
 まわっている春の太陽
 そしてそれらのもっとむこう
 きみは見る
 星雲のようにこんとんとして
 しかもまぶしいもの
 教科書には決してのってはず
 蛍の光で照らしても
 窓の雪ですかしてみても
 正体をあらわさない
 そのくせきみをどこまでも
 いざなうもの
 卒業証書の望遠鏡でのぞく
 きみの未来



司書の先生から卒業するみなさんにおすすめの本

「教室はまちがうところだ」 まきた しんじ 作
はせがわ ともこ 長谷川 知子 絵

まちがうことなんか、
 こわくない！
 たくさんまちがって、
 たくさん成長していって
 ください。



子どもの未来社

「杉本深由起詩集」
 いつだって スタートライン すぎもと み ゆ き 杉本 深由起

～自分で じぶんに
 声をかけさえすれば
 いつだって
 スタートライン～
 みんなへの応援歌です。



理論社

担任の先生から 6年生へ はなむけの本



『好奇心を“天職”に変える 空想教室』

くうそう

空想教室



うえまつ つとむ
植松 努

サンクチュアリ出版

未経験、コネなし、援助なし、20人にも満たない町工場から、自家製のロケットを打ち上げるという経験から見つけた、“どんな夢でも実現させてしまう方法”。誰もが信じて疑わなかった常識を、「工夫」によって次々と塗り替えていく著者の生き様に、誰もが胸をときめかせ、わすれかけていた夢を思い出すだろう。(出版社作品紹介より)



6年1組担任

岡田 真明



『あと少し、もう少し』



せ お
瀬尾 まいこ

新潮文庫

陸上部の名物顧問が異動となり、代わりにやってきたのは頼りない美術教師。部長の榊井は、中学最後の駅伝大会に向けてメンバーを募り練習をはじめめるが…。寄せ集めの6人が県大会出場を目指して、襷をつなぐ。あと少し、もう少し、みんなと走りたい。涙が止まらない、傑作青春小説。

(出版社内容紹介より)



6年2組担任

林 菜々恵



『十二歳』



やつき みちこ
椰月 美智子

講談社

大人になるってムズカシイ。私も「何かになれる」んだろうか。(出版社内容紹介より)

『わたしがここにいる理由』



かたやま ゆうこ
片山 優子

岩崎書店

おさななじみの3人が、中1の春、それぞれの場所で新たな一歩を踏み出す感動作。(出版社内容紹介より)

『ガラスの地球を救え 21世紀の君たちへ』 手塚 治虫 光文社

てづか おさむ
手塚 治虫

光文社

「なんとしてでも、地球を死の惑星にはしたくない。未来に向かって、地球上のすべての生物との共存をめざし、むしろこれからが、人類のほんとうの“あけぼの”なのかもしれないとも思うのです。」(本文より)



6年3組担任

佐々木 洋孝